

キャリアパス支援講演会

第10回育薬・創薬研究センター教育フォーラム

個別化治療を目指した新薬”アレクチニブ“の研究開発 —ダイバーシティ実践による製薬企業での夢の追求—

講師 **青木 裕子氏** エーザイ（株）癌領域ポートフォリオ
マネジメント部シニアディレクター

日時 2019年 **2** 月 **1** 日（金） 15:00 - 16:30

会場 岐阜薬科大学本部 第二講義室



金沢大学薬学研究科修士課程を修了後、製薬会社(ホフマン・ラ・ロシュ)の研究所に就職し、新しい“薬”を創製して開発するという仕事に携わってきました。そこでは様々な学問・知識が必要とされ、幅広い分野の学問(化学、物理学、生物学など)を学ぶ事のできる薬学部在籍していた事の有難みを痛感しました。大学で生物学を専攻し、それを活かした役割を担ってきましたが、他の分野も理解している事が本当の意味でのチームワークと“創薬”の生産性に繋がります。大学時代に受けた“個別化治療”講義の有用性が忘れられず、その夢を持って創薬・開発を続け、肺癌の患者様に対する新規薬剤を世に

送り出す事ができました。研究から開発・申請承認に至るまでには様々なプロセスが必要で、国内に限らず海外チームとの連携も欠かす事のできない重要な要素でした。そこでは、自分自身が女性という事もあり、実に多様な方々との議論・連携が功を奏したと思います。本セミナーでは“夢”を推進力にダイバーシティを実践した過程をご紹介します。